

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王東小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

・国語の平均正答率は、全国よりも低く、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」について課題がみられます。特に、目的や意図に応じて伝え合う内容を検討する「話すこと・聞くこと」に弱い傾向が見受けられます。一方で、「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」についてはよく定着しており、日頃からの継続した取組の成果が見られます。

・算数の平均正答率は、全国よりも低く、いくつかの課題が見られます。特に「数と計算」では、立式や除法の計算といった基礎的な部分に課題があります。「変化と関係」については、示された日常生活の場面や問題を読み取り、言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。一方で、「図形」では五角形の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することや、「データの活用」ではグラフから割合を読み取ることに定着が見られました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向がみとめられる項目

「将来の夢や目標を持っているか」「自分には良いところがあると思うか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」「英語の勉強は好きか」「英語の授業内容がよく分かるか」について高い数値を示しています。

・課題となる項目

「平日2時間以上ゲームをしている」「平日3時間以上SNSや動画視聴をしている」と回答した児童の割合が全国より高いです。また、「学校の授業時間以外に平日1日当たり2時間以上勉強している」「学校が休みの日に勉強をしている」と回答した児童の割合が全国よりも低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

・各教科で「主体的に学ぶ子どもの育成」の視点で授業の工夫を行います。授業中に、学習者一人ひとりが自分に合った学び方を見つけ、主体的に学習に取り組める「学習者主体」の授業作りを進めます。児童が自分のペースで学べる環境を整え、「わかる」「できる」授業を目指します。

・国語の「話すこと・聞くこと」の学習では、伝えたいことを明確にし、構成をじっくり考える時間を設けたり、視点を共有し、目的や意図に応じて内容を検討したりできるように取り組みます。また、読書の活動にも継続して取り組みます。

・算数の学習では、日常生活の場面から図や式などを用いて数量の関係を表し、理解を深めるとともに、目的に応じて複数の情報を関連付けながら自らの考えを記述する学習に取り組めます。

・児童が自主学習に力を入れることができるよう、手引きや自主学習用ワークシート集を充実させます。また、家庭学習の取組・内容の工夫を図り、学習時間の確保につながるよう努めます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

・家庭学習が習慣化されるよう、児童への励まし等ご協力をよろしくお願いします。

・ゲームやテレビ、スマホ等の使用が長時間化しないように家庭でのルールを決めるとともに、家庭学習や読書をする時間の確保をお願いします。

・「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣を定着させ、規則正しい生活リズムを大切にしてください。

・その日の学校での出来事や学習したことについて、家族で会話する機会をつくってください。